

事業名	発達障がい理解普及のためデジタルサイネージ・フリーペーパーなどを活用した啓蒙活動
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人たんと 佐久市長土呂587-6 TEL 0267-68-7977 代表 飯島尚高
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,612,800円 (うち支援金: 1,029,000円)

事業内容

- デジタルサイネージ「あさまチャンネル」で月1回/計12回更新で情報を提示
マンガ(イラスト)を数秒づつ表示し、買い物などに来たお客が支払いを待っている間などに目が行くように工夫し提供した。
- あさまチャンネルにて掲載されたマンガ(動画)に、さらに説明を加え2ヶ月に1度を1ページとしてまとめ広告枠を活用し掲載を行った。
- ただし、初回については締切に原稿が間に合わず、第19号(9, 10月号)に見開き2ページで4ヶ月分の内容をまとめ掲載した。
- 2と同内容をNPO法人たんとのホームページに開設する特設ページにて掲載する予定だったが、今回については予定を変更し、ブログでの紹介と、専用のFacebookページを作成した。



【サイネージ(左)、mamamo(右)】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 佐久地域の全保育園、地域の飲食店などに配布されているmamamoで記事を掲載することで、不特定多数の子育て世代の家族に周知する事が出来た。
- SNSを活用することで、若い世代の母親の初期相談に対応できるようになった。
- 発達障がいかどうかまだ確定できない子どもへのアプローチをする事で、重度化しない初期対応を親が行う事ができるように啓発することができた。

- 【目標・ねらい】
- ①不特定多数の親に発達障がいの方への関わりを知っていただく
 - ②適切な関わりを知ることで、重度化を防ぐ

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

これをキッカケに、親の集まりなどで声をかけていただき来年度は保育園で講演をする予定になっている。また、NPO法人まんまの事業と共同で、親のトレーニング(ペアレントトレーニング)を開始する事になり、効果を直接見る事ができるようになった。Mamamoへの掲載については、一時休止をするが編集部からの評価は高いため、なんらかの方法を用いて今後も継続できるようにしていく計画をたてている。

※自己評価【A】

【理由】
周知する媒体としてはよかったが、思ったより反応が少なく、実際に効果が出ているかどうかを判断することが難しかった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある